

広 報

しょうぼう

No.22

■平成30年3月31日

■発行／里庄町消防団



雨にも負けず、 迅速、的確な演技を披露

里庄町消防操法訓練大会



平成29年10月15日、つばきの丘運動公園で第43回里庄町消防操法訓練大会が開催されました。

この大会は、火災発生時に、団員が消火活動を迅速かつ的確、そして安全に行えるように必要な操作技術を習得することを目的としています。

選手たちは、来賓の皆さんや地域の団員、婦人防火クラブ員が見守る中、悪天候にも負けず、迫力ある演技を披露しました。

大会結果は下記のとおり。

里庄町消防操法訓練大会結果

優勝	第2分団 第9部 (岩村・津江)
準優勝	第1分団 第2部 (西/平ハツのグリーンレスト)
第3位	第2分団 第5部 (大原中・大原西)
第4位	本 部 (町内全域)
第5位	第2分団 第7部 (本村)
第6位	第1分団 第4部 (才申)

優秀選手
優勝部以外の各番員を
選出した個人表彰

指揮者	小川 聖之 (第2部)
1番員	岡崎 匡多 (第2部)
2番員	田邊 知之 (第10部)
3番員	岡本 雅宏 (本 部)

また、優勝した第2分団第9部は、今年5月に開催される岡山県消防操法訓練大会に出場します。

大内団長、藍綬褒章受章



平成29年春の叙勲、褒章において、大内哲夫消防団長が藍綬褒章を受章されました。

この褒章は、公共の事務に尽力された方に贈られるものです。長年の御功績により栄えある章を受けられ、誠にありがとうございます。

里庄町消防団 平成30年度 行事予定

4月	入退団式
5月	県消防操法訓練大会
6月	部長研修
8月	夏まつり里庄 (警備)
9月	厚生体育大会 (警備)
9月	備中地区女性消防団員・若手消防団員情報交換会
10月	町消防操法訓練大会
11月	町内防火パレード
11月	防災訓練
12月	年末夜警
1月	消防出初式
1月	文化財防火訓練
2月	2市1町林野火災訓練

その他	① 毎月第1日曜日に無線テストを実施
	② 各部においてポンプ操作、放水訓練など

随時 災害出動

備中地区 女性消防団員・若手消防団員 情報交換会で発表

平成29年9月30日、平成29年度備中地区女性消防団員・若手消防団員情報交換会が里庄総合文化ホール「フロイデ」電動中ホールで開催され、備中地区10市町の消防団員が発表を行いました。

里庄町からは、第2分団第6部の寺本拓也団員が「恩師との再会」と題して、意見・体験発表を行いました。

また、司会進行を婦人防火クラブ小野会長が務めました。



「恩師との再会」

里庄町消防団

第2分団第6部団員

寺本 拓也



「ペンボーン」
家のインターホンが鳴り玄関のドアを開けると高校時代に授業でお世話になった恩師が消防団の活動服を着て立っていました。新しく引っ越してきた私の家に、わざわざ防災のお知らせを伝えに来たのかと思いました。

「寺本君、久しぶりじゃな、元気してるんかな？消防団に登録したけ、一緒に頑張ろうな、みんな優しいし良い人ばかりじゃけ、すぐに馴染める……」

私は、頭が真っ白になりました。消防団は聞いたことはありましたが、どんな活動をしているか全く分からなかったからです。仕事も三交替勤務をしており、こんな私が消防団の活動を務めることができるのか不安に思いました。初めて機庫に行き自己紹介をしようとしたが、団員の方を見たら、恐ろしい人ばかりで、さらに不安と恐怖に襲われました。そう思っていた矢先、若手団員の方が先輩団員の方に、「〇〇君、次は何をしようかと言っていました。その時、先輩団員の方は私に、「6部は縦の繋がりより、横の繋がりを大事に

しとるんよ。寺本君も〇〇君って言うて大丈夫じゃけ」と言ってくれて少しだけ気持ちが楽になりました。

消防団では毎月第1・第3日曜日に小型ポンプを使った水出し訓練を行っています。仕事が休みのときに何気なく参加し、何も考えず水出し訓練の準備をしていました。

そんなある日のこと、山火事が発生し本部から各部に指示があり、私は初めて出動しましたが、慌てて準備をしたためサングラスで行ってしまい、また放水準備等、全然分からず、ただ立っていることしかできませんでした。私は準備を含め、こういう時に小型ポンプを使った水出し訓練が生きてくるのだと実感しました。

消防団に入団して約3年が経ち、昨年初めて操法の選手に選ばれました。この時も、何で自分が操法の選手をしなればならないのか？仕事も忙しいし、まだ自分には早いと色々な葛藤がある中、練習が始まった最初の頃は仕事も忙しくあまり参加できず、気持ち半分で練習していました。しかし6部団員の方たちは、どんなに仕事やプライベートが忙しくても練習に参加し熱心に指導して下さり、練習が終わったあとは飲みニケーションを行い、反省をしたり、時には談笑をしたりと、かなり打ち解けていきました。練習も終盤に差し掛かり、気づいた時には熱心に指導して下さった先輩たちの期待に応えたい、勝ちたいという意欲に変わっていました。

操法大会本番では6部名物の団員全員で円陣を組み、「行くぞーオー！」の掛け声で気合を入れた

て臨みましたが、私自身のミスが重なり思いどおりの結果ではありませんでした。次こそは必ず勝ちたいと思ったのと、6部団員の団結力がより一層増した大会になったと思いました。

私の勤めている会社は設備稼働から数十年が経ち老朽化が進み、今まで経験したことのないトラブルが頻発しており、他地区のグループ会社が目向ける、トラブルによる火災が発生し、防災意識も年々高まっています。そんなとき、職場で防災訓練があり、初めてホースを消火栓に繋ぎ放水訓練を行いました。放水訓練を実施するにあたり、ホースの延ばし方、筒先の持ち方、ホースの片付け方など誰も分からない状況でしたが、私が先頭に立ち、操法で学んだことを思い出しながら実施しました。まさか操法で練習してきたことが全然違う環境でこんなに役に立つとは思いませんでした。

私は倉敷出身で、これまで消防団や地域と関わることなく生活していました。里庄町に家を建て住むようになり、地域のつながりの大切さが少しずつ分かってきたように思います。それは、やはり恩師との再会であり、この第6部に入団した事がきっかけです。最初は不安と恐怖でしたが、縦の繋がりがより横の繋がりを大切にしていくため、年々、年下関係なく意見交換ができます。職場も町外であるため、入団をきっかけに町内の方とも交流が

持てるようになりました。里庄町は高齢者も多く、この第6部の管轄地区にも独居高齢者の方や高齢者のみの世帯があります。今までは、ただ単に道で挨拶をするだけでしたが、この6部に入団してから、挨拶の意義も変わってきたように思います。顔を向き合ったことで、高齢者の方の刺激にもなるし、「苦勞さん」「がんばってるね」と言われることで、こちらも元気をもらえたような気分になります。



忘れてない？

サイフにスマホに 火の確認

平成三十年度全国統一防火標語

緊急車両運転研修に参加

平成 29 年 7 月 16 日、笠岡自動車学校で緊急車両運転研修を実施しました。

研修には、里庄町・笠岡市の消防団員、笠岡地区消防組合の消防職員が参加しました。

この研修は、笠岡地区消防組合職員および笠岡自動車学校教官を講師に、緊急車両の運転に必要な知識・技術の習得を目的に開催されています。

参加した団員は、関係法令に関する講義を受けた後、基本的な運転技術のほか、特設コースでの切り返し運転、アナウンスの有効な使い方などを学びました。



火 あそびはダメ!

東・西幼稚園 幼年消防クラブ

平成29年10月30日、東幼稚園と西幼稚園で幼年消防クラブを開催しました。

園児たちは、消防署員の話聞いた後、皆で元気よく「防火の誓い」を読み上げました。その後、防火服を着たり、救急車やポンプ車の見学をしたり、消防署員と一緒に放水体験をしたりしながら、楽しく防火について学びました。



町民の生命と財産を守る 消防団入退団式

平成 29 年 4 月 23 日、里庄総合文化ホール電動中ホールで里庄町消防団入退団式を挙行了しました。

今年度は新入団員 17 名が入団し、大内団長から辞令とアポロキャップが手渡されました。

式終了後、新入団員は、鴨方消防署員から基本動作となる敬礼や整列などの礼式訓練、消防ホースの取扱いについて講習を受けました。



防火パレード

平成 29 年 11 月 12 日、秋季全国火災予防運動に合わせて、町内全域で防火パレードを実施しました。

役場前で出発式を行った後、消防団幹部、各部部长、婦人防火クラブ役員により、火災予防の呼び掛けを行いながら、町内を消防団車両でパレードしました。



一致団結して災害に強いまちづくりを ～里庄町消防出初式～

平成30年2月4日、里庄総合文化ホールで平成30年里庄町消防出初式を挙行了しました。多数の来賓の出席の中、消防団員、婦人防火クラブ員、消防署員あわせて約300人が参集し、伝統ある里庄町消防出初式を厳粛に執り行いました。

これまで受け継いできた伝統、誇りと消防職務の重要性を再認識し、結束を誓いました。また、大内消防団長が「常日頃から災害に対する備えと心構えが益々重要になっている中で、災害に対応するための、里庄町に見合った体制づくりが特に大切。行政機関、町民や企業との協力、連携を密にし、相互の信頼を深め、安心で安全な町づくりのため、一層の御尽力をお願いします。」と訓示しました。

その後、これまでの消防団活動に多大なる功績のあった消防団員を表彰しました。



いざというときに備えて 里庄町防災訓練

平成 29 年6月4日、風水害や土砂災害等に対する避難体制の強化と防災意識の向上を目的に、風水害を想定した避難訓練が実施されました。

参加者は、避難場所である里庄東公民館まで避難し、その後、防災セミナーの受講や、防災に関する体験活動を行いました。

この訓練において、消防団員は、地域の危険箇所の見回りや避難誘導、防災体験のサポートを行いました。また、婦人防火クラブ員は、日本赤十字社岡山県支部員の指導の下、特殊なナイロン袋を使って米を炊く訓練を実施しました。



婦防会長のことば

会長 小野 妙子

里庄町婦人防火クラブ員の皆様におかれましては、平素からお忙しい中、各種行事に御協力をいただき心よりお礼申し上げます。私たちは、「家庭から火を出さない」を合言葉に、初期消火や防火防災の普及啓発活動を実施し、火災予防に取り組んでいます。本年度は、6月には防災訓練、3月には林野火災訓練に参加し、炊き出し訓練を実施しました。また、出初式、年末夜警への参加、視察研修や備中地区女性・若手消防団員情報交換会での知識の習得などを行いました。操法訓練の応援では、雨の中にもかかわらず、多くの方の御参加をいただき、選手や消防団員の大きな励みになったと思います。

各地で大災害がたびたび発生し、南海トラフ地震もいつ発生してもおかしくないとと言われる中、クラブ員の方からは、「災害が起こったときにどのように行動すべきか学びたい」、「自分で作れる災害グッズの作り方を啓発してはどうか」といった御意見をいただいています。このような御意見を頂戴できることを大変心強く感じており、今後の活動に活かしてまいりたいと思います。皆様の積極的な参加をよろしくお願いします。

主な活動実績

4月	総会
6月	防災訓練（炊き出し訓練）
8月	視察研修
10月	消防操法訓練大会の応援
12月	年末夜警
2月	消防出初式
3月	林野火災訓練（炊き出し訓練）